



かおり通信



茅ヶ崎市立香川小学校28年度12月臨時号

平成28年12月22日

“楽しい冬休み”

校長 大八木 尚子

今年も残すところあとわずかとなりました。本校は、平成26年度に茅ヶ崎市教育委員会推薦研究の指定を受け、研究テーマを「学び合い、育ち合う子どもの姿を求めて」と設定し、慶應義塾大学の藤本先生を講師に迎え、“子どもの姿から学ぶ授業研究”に3年間取り組んできました。「私は、～思うんだ。」「〇〇さんの考えそうなんだ。」「自分と似てるなあ」「どうして?」「なるほど!」・・・等、子どもたち一人ひとりが授業の中で“どんな学びや学び合い”をしているのか、子どもの姿を大事にした授業づくりを行ってきました。そして、12月9日(金)に研究発表会を行い、市内からたくさんの先生方にご参会いただきました。“温かい雰囲気の中で一人ひとりの子どもたちの学びが見られました。子どもたちが一生懸命考えている姿が伝わってきました。”等、たくさんの感想をいただきました。参会者からのご助言を糧に、今後も香川小学校の子どもたち一人ひとりが、学ぶ楽しさを味わえる質の高い授業づくりに向けて職員一同取り組んでいきたいと思っています。当日、お手伝いいただきました保護者ボランティアの皆様、寒い中本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

さて、今日で後期前半も終わります。明日から1月9日まで18日間の冬休みを迎えます。冬休みは、1年間を振り返り、新しい年を気持ちよくスタートさせるための大切な区切りの休みです。特に、年末年始は、大掃除や新年の行事等、日本の伝統文化にふれるよい機会でもあります。ご家族で過ごす時間も多くなりますので、この機会に色々なお話や体験をさせて欲しいと思います。また、本日配布しました「冬休みの過ごし方」のお手紙についてもお子さんと一緒に再度確認し、事故や風邪などに気をつけて楽しい冬休みを過ごせるようよろしくお願い致します。

今年も教育活動にご協力ご支援いただきまして誠にありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願い致します。よいお年をお迎え下さい。

12月29日(木)～1月3日(火)の期間は、学校には日直代行員がおりません。緊急な連絡は、学校の携帯電話におかけ下さい。

<連絡先> 090-9006-5465

学校評価アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。結果と振り返りにつきましては、集計後、ご報告させていただきます。

すべての子どもたちを大切にできる教育とは —ともに学び、ともに育つことをめざして—

「すべての子どもたちを大切にできる教育」について考えた時に、
発達障害などの理解がさらに広がり、深まっていくことが必要ではないでしょうか。
「子どもたちがともに学び、ともに育つ」ために、私たちができることは・・・。
国内外の教育現場に深く携わっている講師の先生のお話を伺い、ともに考えていきませんか。

講師 **教育ジャーナリスト、編集者**
しながわ ゆか
品川 裕香 氏

日時 平成29年1月28日(土) 10時から12時

※受付は9時30分から

会場 茅ヶ崎市役所分庁舎6階コミュニティホール

(住所：茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号)

定員 120名(申込制・先着順)(市内在住・在勤の方)

託児 2歳以上10名(申込制・先着順)

市役所利用者の駐車料金の免除は、
原則として1時間までとなります。
ご了承ください。

品川裕香氏のご紹介

- Ⓐ 早稲田大学法学部卒業。出版社で雑誌・書籍の編集に12年携わった後、2000年に独立。
- Ⓑ インクルーシブな教育システムについての最終報告を出した中教審特別支援教育の在り方を考える特別委員会委員、現中教審企画特別部会委員
- Ⓒ 教育・医療・社会問題を異文化理解・予防的観点から取材執筆。
- Ⓓ 国内外の教育現場(いじめ・不登校・虐待から、LD・ADHD・アスペルガー症候群など特別支援教育、非行など矯正教育まで)、子ども・保護者・教師・支援者たちの思いを多角的に取材執筆。

□申込期間：12月22日(木)～平成29年1月20日(金) ※年末年始を除く

□託児締切：平成29年1月18日(水)

お申込みはお電話で(保幼小中関係職員は所定の様式で)

次のことをお伝えください

- ①お名前と人数 ②ご連絡先電話番号 ③託児のご希望の有無

※ご連絡先電話番号につきましては、緊急の中止の場合等のみを使用し、教育センター内で管理します。

主催 **茅ヶ崎市教育センター** 研究研修担当

〒253-0045 茅ヶ崎市十間坂三丁目5番37号(市青少年会館3階；梅田中学校前)

TEL.0467-86-9965 (土・日を除く9時から17時まで)

茅ヶ崎市教育センター URL <http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/kyouiku/1005049/index.html>

【年末年始の行事予定】



日曜	学校行事	日程	1年	2年	3年	4年	5年	6年
21 水	給食終了 大掃除(5校時)	B	5	5	5	5	5	5
22 木	授業終了 放送朝会	B	3	3	3	3	3	3
23 金	天竺祭当日 冬季休業 1/9まで							
24 土								
25 日								
26 月								
27 火								
28 水								
29 木								
30 金								
31 土								
1 日								
2 月								
3 火								
4 水								
5 木								
6 金								
7 土								
8 日								
9 月	成人の日							
10 火	授業再開 登校指導 安全指導 放送朝会 5年委員会活動	B	2	2	2	2	3	3
11 水	登校指導 給食開始	A	5	5	6	6	6	6
12 木	PTA運営委員会	B	5	6	6	6	6	6
13 金	6年東京見学	A	5	5	5	6	6	6



12/29日から1/3まで、学校は完全に閉校になります。(門も閉まっていますので入れません。)
 代行員もいませんので、ご了承ください。
 事故等緊急時のみ、学校携帯(090-9006-5465)へご連絡ください。

【1月・2月の行事】
 授業開始：1月10日(火) 給食開始：1月11日(水)
 書き初め大会：各学年毎 新入学児童保護者説明会：1月18日(水)
 6年生中学見学：1月19日(木)
 地域deボランティア：1月28日(土)
 授業参観・・・3・4年：2月1日(水) 1・2年：2月2日(木)
 5・6年：2月8日(水)

【1月給食費引落日】
 1月 4日(水)
 1月18日(水)



【塩化カルシウム散布】
 校庭凍結防止のため、22日に塩化カルシウムを散布します。そのため、22日(木)の放課後と、23日(金)の2日間は校庭では遊べません。
 ご協力お願いいたします。

おめでとう!

【みどりの絵コンクール】
 入選 5年 椎野 夢月さん
 入選 6年 福原 圭奈さん

【「ごはんお米と私」作文・図画コンクール】
 全農神奈川県本部長賞 2年 平田 真央さん

＜平成28年度 全国学力学習状況調査より＞

4月19日に全国6年生対象に悉皆で行われた「全国学力学習状況調査」の結果を次のように分析しましたので、ご報告いたします。

※全体的な傾向は、全国・県と概ね同様ですが、活用の問題に課題が見られました。

【今後の授業改善に向けて】

＜国語＞

- ・A問題（主として知識）については、ローマ字の読み書きは全国・県平均より上回っていました。また、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、訓読みを苦手とする児童が多いです。B問題（主として活用）では、「話すこと・聞くこと」の目的に応じて質問したいことを整理するは、全国・県平均より上回っていましたが、「書くこと」に課題が見られました。まずは、既習の漢字を書いたりする機会を意図的・計画的に設定する指導を行うとともに、辞書を日常的に利用して調べる習慣をつけていきます。「書くこと」では、「書く」場面を多く取り入れ、論理的な思考力を向上させる指導を行っていきます。

＜算数＞

- ・A問題（主として知識）については、「数量や図形についての知識・理解」はある程度理解されていますが、「数量や図形についての技能」に課題が見られました。B問題（主として活用）では、「数と計算」「図形」における数学的な考え方に課題が見られましたが、無回答も少なく文章で説明する問題に挑戦する児童が多かったです。今後は基礎的なことを定着させる指導の繰返しを行っていくことや自分で答えを導き出しても、他の人がどのように考えて立式しているのかを読み取ることができるような学びあいの関係性を大事にした授業づくりを行っていきます。

【本校の傾向と今後の改善に向けて】

- ・本校の児童の基本的な生活習慣に関しては、概ね良好と言えます。朝ごはんもほとんどの児童が食べており、規則正しい生活をしている児童がほとんどです。
- ・家庭学習については、ほとんどの児童が宿題に取り組んでいます。宿題の習慣が身に付いてきています。しかし、自分から計画して家庭学習を行う児童は全国平均より少なかったです。今後は、宿題の内容の工夫を支援していきたいと考えています。
- ・家庭での過ごし方については、テレビやDVDの視聴時間や携帯電話・スマートフォン等の使用時間は、昨年度に比べると減少していますが、県や全国平均よりも上回っています。さらに個人差がかなりあることや時間の使い方によって学習時間が短くなっている等、家庭での過ごし方に偏りがあることが見られました。家庭での学習やテレビ・ゲーム等時間のルールを決めていくことの大切さを伝えていきます。
- ・読書への興味は、全国平均とほぼ同じであり、朝読や読書活動に取り組んでいる成果と思われます。
- ・「自分には良いところがある」「物事を最後までやり遂げてうれしい」等、自尊感情が高い傾向にあります。
- ・道徳や各教科では、課題解決に向けて自分の考えを分かりやすく伝えたり、友達と話し合ったりする活動を通して自分の考えを深めることができたという回答した児童が多く、これは、校内研究で「学び合い 育ち合う子どもの姿」を目指してきた取り組みの成果であると考えられます。今後も“子どもの姿に学ぶ”授業づくりをさらに深めていきます。

【おわりに】

本調査結果により測定できるのは、あくまでも学力の一部であることや学校における教育活動の側面に過ぎないことから、本校の成果や課題をすべて反映するものではありません。しかし、調査結果により様々な成果や課題・改善が見えてきたのも事実です。この調査結果を十分に活用して自らの教育活動を検証し、その改善を図り、児童一人一人の学習改善や学習意欲につながるよう指導していきたいと考えています。